赤中プライド2022

水戸市立赤塚中学校
学校だより　№10
令和４年10月５日

体育祭・新人大会で

２学期が始まって1か月がたちました。その間に体育祭や新人戦の大きな行事がありました。
体育祭前は天候に恵まれず，十分な練習ができずに当日を迎えました。前日も雨で，テントやライン等の会場準備も全くできず，当日の朝職員が７時前に係生徒は７時３０分に集合して準備し開催にこぎつけました。２年ぶりに保護者の皆様に参観いただきながらの体育祭ができました。感染防止のため保護者エリアが遠く見ずらかったかと思いますが，ご容赦願います。
生徒たちの生き生きとした表情，クラスの団結の様子を見ることができ，半日ではありますが，充実した時間となりました。このクラスの活動を，次回は合唱コンクールで発揮してほしいと思います。

新チームとして初の公式戦の新人戦では，各部がそれぞれ全力でプレーをし，結果を残すことができました。勝負事ですので，勝ち負けはついてきますが，この経験をどう生かすのかが来年６月の総合大会の結果につながっていきます。新人戦を通して自分たちで見つけた課題をどう克服するのか，新チームの活動は始まったばかりです。各部ともこれからの成長が楽しみです。結果の詳細は学校ホームページをご覧ください。

3年生AED体験学習

９月２１日に水戸地区救急普及協会の皆さんに来ていただき，３年生がＡＥＤを使用しての救命体験を行いました。
みんな真剣に取り組みました。

年間での交通事故による死者が４千人に対し，心臓停止による死者が約７万人になることに驚いた。また，心臓停止によってなくなってしまう人の約7割が，自宅で命を落としていることにも驚いた。
心臓組成の手順として，①周囲の安全確認　②119番，ＡＥＤの要請　③意識の確認　④呼吸の確認　⑤胸部圧迫　⑥ＡＥＤの使用　⑦救命隊への引継ぎなどが必要であることが分かった。また，その手順の中でも，胸部圧迫では５ｃｍしっかり押し込む，１分間に１００回～１２０回行う・絶え間なく行うなど重要な点をとらえながら実技を行うことができた。もし自分が，今日学習した場面に遭遇したら，学んだことを生かしてしっかりと対応ができるようにしたい。（１組遠藤心夏さん）

今回のＡＥＤ体験学習では，胸部圧迫とＡＥＤによる電気ショックの仕方や呼吸の確認を動画で見ながら実習することができました。また，心臓を押す力など大人用のＡＥＤ体験キットだったので大変でした。動画では。ＡＥＤの使い方ではなく，「人に頼むこと」や「一人一人の駆けつける勇気」で約７万人の死亡者から救える命があると知り，今後，心停止などがあれば今回の「ＡＥＤ体験学習」で習ったことを生かし，家族などにも教えたいと思いました。（４組播田実夏帆さん）

後期生徒会役員選挙

１０月１日に後期生徒会役員の演説会と投票がありました。オンラインでの演説後，自分のタブレットでの投票です。コロナの関係で出席停止になっている生徒も，体調が大丈夫な人は自宅で演説を聞き，投票を行いました。オンライン投票は今後現実に行われるかもしれません。赤中は一歩先を行っていますね。３年生は後輩にバトンタッチです。赤中を託すという思いで投票してくれたと思います。３年後には本当に選挙権を得ることになります。人を選ぶ，託すということを真剣に考える機会としたいです。１・２年生は，自分たちの代表を選び赤中をさらに良くするために，中心となってくれる人を選ぶ場です。投票して終わりではなく，代表となった人を支える気持ちが大切です。当選した人たちが頑張るのはもちろんですが，全員で赤中の一歩前進へ向け挑戦していきましょう。